

大阪府指定出資法人評価等審議会 委員意見（評価、指導・助言）

資料 4

審議会日及び法人名	委員意見	従 前
<p>【7月28日審議会】</p> <p>(株)大阪鶴見フラワーセンター</p>	<p>・当期経常利益の未達成要因については、コロナの影響や寒波の影響、経年的な花きの需要低下によるものなど、それぞれの影響がどのくらいあったのか、精緻に分析する必要があるのではないか。</p>	<p>(評価)</p> <p>・長期的に花き需要が減少傾向にある中、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により花き取扱高が大きく減少したこと、また、売上に打撃を受けた卸売業者や仲卸業者に対する施設使用料の減額も行ったことから、法人の売上高は大きく減少し、最重点目標の「当期経常利益」が未達成となった。結果、令和2年度の最終損益も2年連続で赤字となるなど、法人の経営状況は一層厳しいものとなっている。</p> <p>・「花き卸売市場に対する買受人の不満足度」では目標を達成しているものの、それ以外の指標については未達成となっており、目標達成に向けた取組みが必要である。</p> <p>(指導・助言)</p> <p>・新型コロナウイルスの影響等もあり、花き市場の取扱高は低調となっているが、新たに整備したWEBセリシステム等の活用や、新規買受人の獲得、オンラインを活用した商談会・展示会の開催など、市場の活性化に向けて取り組むこと。</p> <p>・経営状況を勘案した施設改修に取り組むとともに、中長期的な観点から、市場関係者との協議・調整に努め、法人の民営化を見据えた企業価値の向上を図るための具体的な取組みを検討すること。</p>



修正後
<p>(評価)</p> <p>・長期的に花き需要が減少傾向にある中、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により花き取扱高が大きく減少したこと、また、売上に打撃を受けた卸売業者や仲卸業者に対する施設使用料の減額も行ったことから、法人の売上高は大きく減少し、最重点目標の「当期経常利益」が未達成となった。結果、令和2年度の最終損益も2年連続で赤字となるなど、法人の経営状況は一層厳しいものとなっている。</p> <p>・「花き卸売市場に対する買受人の不満足度」では目標を達成しているものの、それ以外の指標については未達成となっており、目標達成に向けた取組みが必要である。</p> <p>(指導・助言)</p> <p>・新型コロナウイルスの影響等もあり、花き市場の取扱高は低調となっているが、目標未達成の要因について詳細な分析を行うとともに、新たに整備したWEBセリシステム等の活用や、新規買受人の獲得、オンラインを活用した商談会・展示会の開催など、市場の活性化に向けて取り組むこと。</p> <p>・経営状況を勘案した施設改修に取り組むとともに、中長期的な観点から、市場関係者との協議・調整に努め、法人の民営化を見据えた企業価値の向上を図るための具体的な取組みを検討すること。</p>